アジア・アフリカ学術基盤形成事業の工夫と困難さ
学術振興会（2011－2022）

価値観の相互理解と関係性の構築
ラオス

橋本麻由美
常磐大学　看護学部看護学科　看護学研究科

第42回 日本看護科学学会 学術集会 教育シンポジウム１　2022年12月3日（土）

日本看護科学学会　COI　開示

筆頭者氏名　橋本麻由美

所属名　常磐大学 看護学研究科 看護学部看護学科

筆頭演者は日本看護科学学会へのCOI自己申告を完了しています。
演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある
企業・組織および団体等はありません。

本日の内容

テーマ：価値観の相互理解と関係性の構築

1. ラオス人民民主共和国（ラオス）の概況
2. ラオスとの出会い
3. ラオス人の価値観への理解と信頼関係の構築
4. アジア・アフリカ学術基盤形成事業：共通の価値観の創出
5. まとめ：パウロ・フレイレの言葉から

1．ラオス人民民主共和国（ラオス）の概況

地形や資源等の制約要因・後発開発途上国

1893年：フランス領ラオスの成立（以前は王国）

1961年：内戦激化

1975年：ラオス人民民主共和国成立/社会主義型一党支配体制

1986年：経済の自由化に着手

1991年：憲法制定

http://www.aquanotes.com/asia/index.html#

2．ラオスとの出会い

JICA短期専門家

2008年 7～12月 保健省令「助産臨床実践基準」制定支援

2009年 6 ～7月　保健省令「助産業務範囲指針」制定支援

- 共通言語がない
- 表も裏もわからない

- 共通言語がない
  - ラオス人と日本人
    - 共通語：第二言語としての英語
    - 限られたEnglish Speaker
    - 翻訳/通訳の質（Midwife⇔半分の妻？）
  - ラオス人同士
    - 多民族で異なる言語
    - 病院の人（タンモー：医師、看護師 etc.）

- 表も裏もわからない
  - のんびりしたラオスの文化、人々
  - 時々感じる：社会主義国、党体制
  - ラオスの仕組み
    - 法体系と制定プロセス
    - 意思決定のしくみ
    - 文書はラオス語のみ
    - 英語の文書は外国人用？
  - 複雑な人間関係

基本的姿勢

ラオス人による決定を支援する

保健省令としての議論の方向付け、語る機会がなかった被援助国/開発途上国の看護職の考え

ラオス社会のしくみや文化への尊重

公開される情報と公開されない情報、非効率性と効果性、不便さと豊かさ

Go to the People/人々の中へ

Go to the people, Live among them,
Learn from them, Love them,
Start with what they know, Build on what they have;
But of the best leaders,
When their task is accomplished,
Their work done,
The people all remark: We have done it ourselves

Dr. James Yen（1890-1990）

3．ラオス人の価値観への理解と信頼関係構築

ラオス保健省治療局看護課長

「 任期終了までにミッションを完了できないと困るだろう。困らないようにするから心配するな。」

ラオス人

「 ラオス人には、サバーイかどうかが一番大切。サバーイは訳すのが難しいけど、 Good feelingとかComfortable という意味。でも、自分だけがGood feelingなのは、サバーイではないのよ。」

パラダイムシフト：援助側の優位性って何？

ラオス人の価値観「サバーイ」って何？

Laos, Japan team up to improve licensing of nurses, midwives

Times Reporters

Health officials are looking at how they can improve the quality of nursing and midwifery services through more efficient licensing and registration of personnel.

More than 40 representatives from the Ministry of Health, Lao Medical Council, Lao Medical Association, University of Health Sciences, central hospitals and the Japan International Cooperation Agency (JICA) exchanged views at a workshop held in Vientiane last week.

Topics discussed included licensing and registration, aimed at identifying issues and reaching consensus on the licensing and registration system in Laos.

Director General of the Education and Sciences Research Department of the Ministry of Health, Associate Prof. Dr Sing Menorath, said that, even though Laos has many medical staff, continuous training to develop their skills is necessary to provide better medical services.

This workshop was the first meeting of those involved in licensing and registration in Laos on regulating the quality of the health personnel who link with their Asean counterparts for the mutual recognition of professionals.

During the one-day workshop, participants were informed of the history and current state of the licensing and registration system for nurses and midwives in Japan.

They also discussed how such a system could be put in place in Laos. A JICA expert on the subject, Kazuko Iwasawa, who is Head of the Nursing Division of the Ministry of Health, Labour and Welfare in Japan, provided participants with an overview of the Japanese system.

A lively exchange of views took place during the workshop, in which the various parties discussed the current state of licensing and registration, as well as issues and procedures that should be incorporated into the system. The workshop also provided the opportunity to establish new directions in the system, resulting in a highly meaningful meeting for all concerned.

President of the Lao Medical Council, Prof. Dr Bounhong Southavong, also attended the workshop which was supported by JICA.

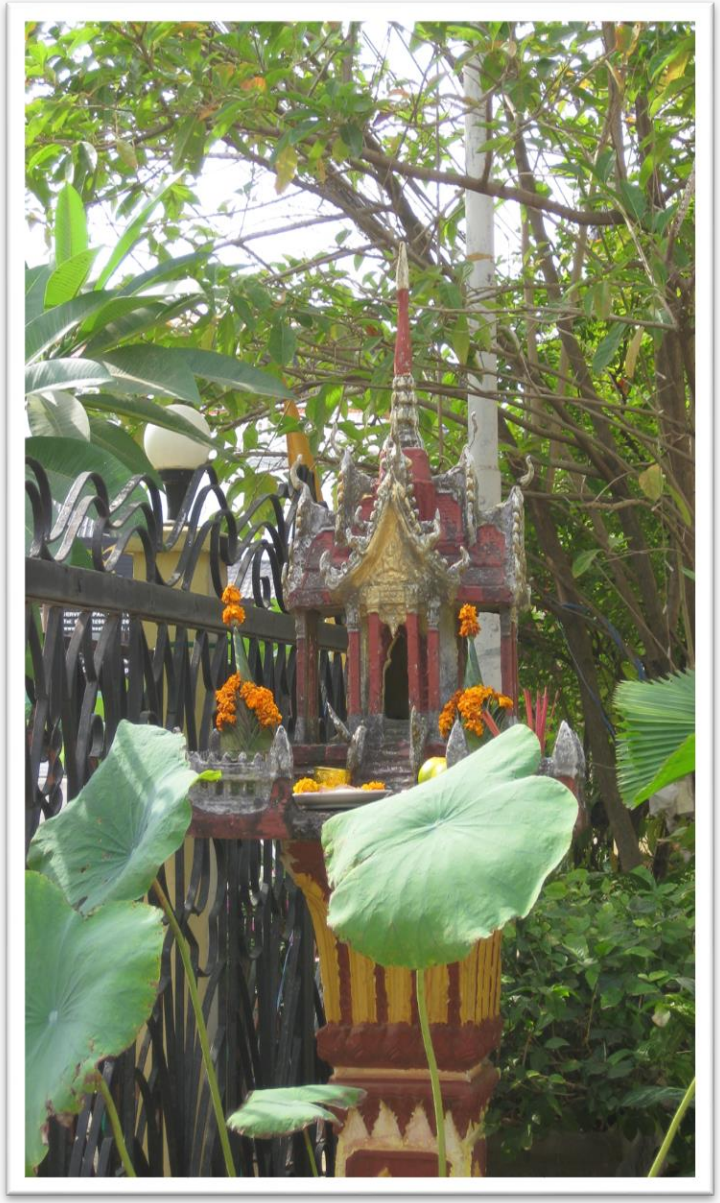
Dr Sing Menorath (*centre right*) addresses the workshop.

JICA長期専門家（2012～2014年）
チーフアドバイザーとして着任
ラオスの同僚からの助言

- ノースリーブは避ける
- 人の前を横切る時は会釈をする
- 長い髪は結ぶ
- 適切なシン（巻きスカート）の長さ
- 綿よりもシルクが望ましい

Go to the people, Live among them, Learn from them. **人びとの中へ行き、人びとと共に住み、人びとから学ぶ.**

文化的価値観へのさらなる理解と信頼関係の構築



教育・臨床現場の地方視察とお寺/塔

「お寺で自分の健康とプロジェクトの成功を願いましたか？」

「ホテルの部屋のピー（精霊）に挨拶をしましたか？」

「家のピー（精霊）にお礼を言いましたか？」

4．アジア・アフリカ学術基盤形成事業：共通の価値観の創出

事業開始時：協力依頼を受ける側から協力をお願いする側へ

ラオス人の理解を得る

- 必要経費、会計処理（領収書、日付、購入した数etc.）
- 研究計画・倫理・倫理審査システム

日本　⇔　ラオス

往来と交流による相互理解

「ラオス看護教育セミナー」開催, 東京　（2018年7月）
ラオス看護の行政・教育・臨床の各トップを日本へ招聘

「質の向上を目指した看護教育セミナー」開催, ビエンチャン（2018年9月）
ラオス看護の行政・教育・臨床リーダーが多数参加

共同研究：デルファイ法によるラオス学部看護学生のクリティカルシンキング評価ツール開発（2019年）

Degree of consent
Please check ✔ an applicable answer
ລະດັບຄວາມຄິດເຫັນ ກະລຸນາໃຊ້ເຄື່ອງໝາຍ ✔。

ເຫັນດີທີ່ສຸດ Strongly agree (100％ agree)	ເຫັນດີຫນ້ອຍ ຫນຶ່ງ Agree (About 70% agree)	ບໍ່ເຫັນດີ ປານໃດ Disagree (About 30% agree)	ບໍ່ເຫັນດີທີ່ສຸດ Strongly disagree (0 ％agree)

< 調査票の一部 >

< 評価ツール完成を喜び合う >

相互理解に基づく共通の価値観の創出

- **相互理解に基づくラオス人共同研究者からの発案**
  - 日本：研究協力依頼書、文書による研究参加への同意
  - ラオス：詳細な説明文や署名を求められることはあまりない

  ↓

  グローバルな方法として研究参加者（看護教育リーダー）からの理解
  研究参加も研究を学ぶ機会である
  - ラオス人にとってわかりやすい調査票作成（4件法の表現）

- **課題と解決案：看護師の思考に関するラオス語の共通言語**
  - 隣国タイでの学位取得（学士・修士・博士）
  - 看護学の教科書：タイ語
  - 仮訳への協力（教育と臨床）とパネル会議開催への希望

- **ラオス人からの理解と協力支援**
  - ラオス倫理審査申請手続きと承認
  - 許可書発行と事前連絡
  - 領収書チェック（値引きの表示）
  - 調査票の配布と回収方法（お祭りの時）：パネルとしての責任

5．まとめ

文化の相違というのは、ぼくの難題で、とくに言葉の問題では悪戦苦闘したが ―できるだけその土地の言葉で自分の考えを言おうとすると、思うようにはいかないものだ― **その相違を最大限に尊重することの大切さを思い知ることで**、ぼくは、**さまざまな国の、さまざまな現実について、多くを学ぶことができた**のだと思う。

パウロ・フレイレ（著）, 里美実（訳）
希望の教育学, 太郎次郎社, 2001, 57頁